




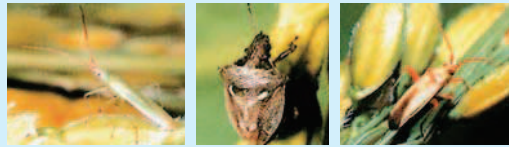



7 地域ぐるみの防除で安全・ 安心なおいしい氷見米づくり 8

	4月	5月	6月	7月	8月
基本防除	育苗 育苗箱・資材の消毒 イチバン *1,000倍液に瞬間浸漬 	苗箱処理剤 いもち病、白葉枯病、紋枯病、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、イネツトムシ、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、イナゴ類 	6月下旬～ イナゴ類 トレボン粉剤	7月上旬頃 カメムシ類 畦畔等の一斉草刈を実施!	一斉防除 集落一斉共同防除1回目 穂いもち カメムシ類・ウンカ類 ラブサイドキラップ粉剤DL *収穫14日前まで 3~4kg/10a 
	種子消毒 テクリードCフロアブル *200倍液に24時間浸漬 	播種時 田植時 ルーチンブライト箱粒剤 *播種時(覆土前)~移植当日 50g/箱 *農協で購入した苗には散布不要です *紋枯病の防除効果が有るので本田防除から紋枯病の防除を減らせます (苗箱1枚当たりの散布量をしっかり守ってください。散布薬剤が少ない場合は防除効果が十分に発揮できません。) 	斑点米を出さないために  アカヒゲホソミドリカスミカメ トゲシラホシカメムシ アカスジカスミカメ ○畦草刈りの徹底と水田内雑草防除を徹底 ○生育ステージに合わせた適期防除を実施 ○カメムシの発生が多い場合は随時防除を実施!		集落一斉共同防除2回目 穂いもち カメムシ類・ウンカ類 ビームスタークル粉剤5DL *収穫7日前まで 3~4kg/10a 
随時防除	ムレ苗 タチガレエースM液剤 *播種時 又は 発芽後 500倍・500ml/箱		ウンカ類・カメムシ類・イナゴ類 スタークル粉剤DL *収穫7日前まで 3kg/10a		

雑草防除	田植後日数	当日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30													
	雑草多発圃場	ポデーガードプロ1キロ粒剤															体系使用																												
一発処理剤	カチボシ1キロ粒剤 ディオーレ1キロ粒剤 エンペラー1キロ粒剤												残草がある場合																																
体系処理	マーシエット1キロ粒剤								体系使用								カチボシ1キロの体系是正剤を								粒剤等使用								残草がある場合												
初期剤	かねつぐ1キロ粒剤															体系使用																													
中期剤	かねつぐ1キロ粒剤															体系使用															アクシズMX1キロ粒剤 レプラス1キロ粒剤 ワイドショット1キロ粒剤														
初期剤 + 中後期剤 (ジャンボ剤)	かねつぐ1キロ粒剤															体系使用															テッケンジャンボ 10パック/反														
*ジャンボ剤散布にあたっては、水の出入りを止めて、水深5~6cmの湛水状態で均等に施用し、3~4日は湛水状態を維持してください																																													

後発ヒエが多い場合は、収穫45日前までに「ヒエクリーン」を散布

注意事項

- 雑草が多い場合は、初期剤+一発処理剤または中期剤の体系防除をしましょう。
- 処理時の水深は、粒剤の場合は3~5cm、ジャンボ剤は5cm以上としましょう。
- 散布後の5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水かけ流しをしない。

○農薬は定められた使用量・使用時期を守って安全に使いましょう! 風があるときはドリフトなど飛散防止に努めましょう!